

# 年頭所感

一般社団法人組込みシステム技術協会

会長 竹内 嘉一



あけましておめでとうございます。  
旧年中は、当協会活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝いたします。  
本年も引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年のが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の進捗に伴い、感染防止と政府の需要喚起策や入国制限緩和など経済活動の正常化を促す政策を背景に、サービス消費やインバウンド消費が回復の兆しを見せております。また、国内設備投資も持ち直してきており、中でもソフトウェア投資がDX推進も相まって振れを伴いながらも高水準で推移している状況で、組込みシステム業界を含むIT業界全体が今年もこの傾向が継続するとみています。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻を背景としたエネルギー価格や原材料価格の高騰、半導体不足、急激な円安の進行などが内需をさらに下振れさせており、加えて、高インフレ・金融引締めに伴う欧米の景気後退の可能性は高まっております。ゼロコロナ政策の影響

による中国の景気回復が長引くことも懸念されていることから、外需の下振れリスクも大きい年であり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

こうした中、JASAの活動も2019年度並みに回復させるべく、『JASAビジョン2030』の下、新たな活動を開始し、様々なイベントや活動をできるだけリアル開催することで進め、活動は堅調に回復して参りました。

度重なる感染数増加の波によってET展示会事業は残念ながらV字回復とはなりませんでしたが、新たなコンセプトの『EdgeTech+』は、今後の展開に新たな風を吹き込んだと大きな手応えを感じております。

今年、『JASAビジョン2030』に向けた1stステージの3ヵ年計画の2年目として、以下の重点活動項目6施策を基軸とし、引き続き既存事業の修復と再構築を進め、新たな収益事業を具現化して参ります。

1. 展示会事業を成長性のある収益事業に刷新

2. 業界団体としての、あるべき人材育成事業の追求
3. サプライチェーンでのセキュリティ対応支援事業の創出
4. 経営者向けプログラムの充実と人脈形成機会の創出
5. 業界マップの制作とビジネスマッチングの場の創造
6. 業界標準プラットフォームの開発と成果物の共有化

今年の干支「癸卯(みずのとう)」には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよい意味があるようです。『JASAビジョン2030』に向けて、活力ある協会づくりの活動を礎とし、2年目の今年に変革を具現化する年となりますよう、皆様と共に力を合わせ、知恵を出し、進めて参る所存ですので、ご理解とご助力をお願い申し上げます。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの脅威がまだまだ続くなか、皆様におかれましては健康最優先にご留意いただき、今年も一年、健やかに過ごせる良い年になりますことを祈念申し上げます。

## 謹賀新年

令和五年 一月

会長 竹内 嘉一  
副会長 渡辺 博之  
ET事業本部長 神山 裕司  
副会長 佐野 勝大

専務理事 事業推進本部長  
交流推進本部長  
人材育成事業本部長  
技術本部長

武部 桂史  
廣田 豊  
杉本 浩  
竹岡 尚三